



公益社団法人 企業メセナ協議会

108-0014 東京都港区芝5-3-2

アイセ芝ビル 8階

phone 03-5439-4520 facsimile 03-5439-4521

www.mecenat.or.jp

2016- No.10 2016年8月22日

未来の文化創造に向け、損保ジャパン日本興亜が SOMPO アート・ファンドを設立、第一回助成活動 18 件が決定

損害保険ジャパン日本興亜株式会社はこのたび、新たなファンド「SOMPO アート・ファンド」の第一回審査会を行い、未来の文化創造に貢献し、人々のクリエイティビティを高める芸術・文化活動など 18 件を採択しました。

これは公益社団法人企業メセナ協議会(東京都港区芝 5-3-2、理事長:尾崎元規)の「2021 Arts Fund(正式名称:2021 芸術・文化による社会創造ファンド)」の仕組みを活用したもので、同協議会がコーディネート、協力しました。

SOMPO アート・ファンド

損害保険ジャパン日本興亜が、芸術・文化の振興を通じた豊かな社会創造を目指して設けた新たなファンド。協議会の「2021 Arts Fund」の趣旨に共感し、パートナーを組んで運営するものです。

SOMPO アート・ファンドでは、次のような活動を支援の対象としています。

- (1) 未来の文化創造に貢献し、人々のクリエイティビティを高めていくような芸術・文化活動
- (2) 地域の魅力を顕在化させ、その独自性を発揮していくような芸術・文化活動
- (3) 文化による国際交流、および多方向性ある文化交流を促すような芸術・文化活動
- (4) その他、芸術・文化による社会課題の解決および社会創造に寄与する活動

2016年8月1日～2017年3月31日までに、規模の大きな国際芸術祭や、独創性に富むアートプロジェクトまできめ細かに支援し、今後も継続的な助成を行う予定です。

被災地を含む全国各地の活動に目を向け、創造性にあふれた「**未来の社会づくり**」という視点を持つファンドであることが最大の特徴です。

■SOMPO アート・ファンド URL <https://culfun.mecenat.or.jp/grant/sompo>

2021 Arts Fund – 2020 年の先に向けて

企業メセナ協議会では2020年を一つの契機ととらえ、今から始まる文化の祭典の機運を醸成し、その先の豊かな社会を創造するため「**Creative Archipelago (創造列島)**」*を旗印に掲げました。日本各地の文化の魅力を発信し、新たな芸術活動の振興や国際的な文化交流を推進し、文化に基づく創造経済の確立を目指しています。

「2021 Arts Fund」は、芸術・文化に対する社会的投資や寄付の促進をはかるべく、寄付者の目的をかたちにするファンドとして2014年より運営。

今回設立した「SOMPO アート・ファンド」は当ファンドにおける初の助成型ファンドで、2020年の先を見すえ、芸術・文化により活気ある未来を創造したいという損保ジャパン日本興亜の思いを実現したものです。

*プレスリリース「企業メセナの新展開『Creative Archipelago (創造列島)』が目指すもの」(2016.2.26 発表)参照

【公益社団法人企業メセナ協議会】<http://www.mecenat.or.jp/>

芸術・文化振興による社会創造を目的として、企業をはじめ文化に関わる団体が参加、協働する民間の公益法人。
会長：高嶋達佳 ([株]電通会長)、理事長：尾崎元規 (花王[株]顧問)。

会員 168 社・団体 / 27 名 (2016年7月1日現在)。〒108-0014 東京都港区芝 5-3-2 アイセ芝ビル 8 階

本件に関するお問合せ 広報担当：坂本 msakamoto@mecenat.or.jp TEL 03-5439-4520

SOMPO アート・ファンド担当：佐藤 (華)、小澤 sompo@culfun.mecenat.or.jp



企業メセナ協議会「SOMPO アート・ファンド」助成活動一覧【第1回】

ヒューマンセレブレーション 三陸国際芸術祭 2016	文化芸術による東日本大震災からの復興とあらたな文化芸術の創出を目的に、三陸沿岸の風土と歴史から生まれ、生活に寄り添う芸術“郷土芸能”の紹介や三陸の人々が主役となるダンス・演劇作品の創作・発表を実施する。2014年から始まり今年3年目、八戸会場が加わり、周辺催事や六本木アートナイトなどと幅広く連携をとりながら大きく展開を図る。
NPO 法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク (京都府)	
2016年8月1日～2016年10月23日	
青森県八戸市、岩手県大船渡市、宮城県気仙沼市、東京都各所	
なつかしい未来創造事業アーティスト・イン・レジデンスプログラム (陸前高田 AIR) 2016	国内外のアーティストを招聘し、一定期間の滞在をしながら土地のリサーチや作品制作を実施し、その作品を展示。アートを通じて東日本大震災の復興の過程の記録を試み、また地元資源を活用し、アーティストの感性による新たな価値観を生み出し、未来へつなげるためのプログラムを実施する。
なつかしい未来創造株式会社 (岩手県)	
2016年8月1日～2017年3月31日	
岩手県陸前高田市・住田町内各施設、東京都江東区、タイ・チェンマイ、オーストラリア・シドニー、イギリス・ロンドン内各所	
命は創造をやめないー被災地から生まれる創造と表現	知的障害者によるアート作品の企画展示と創作活動を支えるアトリエを併設する美術館。東日本大震災において災害弱者となった知的障害者による美術作品を含む、被災者による創作物の紹介とその表現によって生まれた人と人とのつながりに光をあてる展覧会を開催する。また震災記録映画の上映とトークショー、被災体験者による公演もあわせて実施。
社会福祉法人光林会るんびにい美術館 (岩手県)	
2016年12月1日～2017年3月31日	
岩手県花巻市るんびにい美術館	
住民主体による南三陸町と沖縄・八重山地域との交流促進事業	東日本大震災で支援活動に入っていた沖縄那覇駐屯の陸上自衛隊により仮設住宅の子どもたちに沖縄三線がもたらされ、また津波により西表島に漂着した南三陸町歌津地区の郵便ポストがアーティスト BEGIN の支援により帰還し、以後地区の復興夏祭りへの支援につながった。震災によるご縁で生まれた東北初の沖縄音楽を「新しい音楽文化」ととらえ、一方向の支援から双方向の関係性づくりをめざし、まちづくりに寄与する各種事業を展開する。
一般社団法人COMMON S (宮城県)	
2016年8月1日～2017年3月31日	
宮城県本吉郡南三陸町内各所	
(仮称) 国際 (こどもアート) センター 駅まつり	市民協働のアートプロジェクトで定評のあるアーティスト KOSUGE1-16 (車田智志氏、土屋亨氏) の作品シリーズ「The Playmakers」(パペットと遊び場をつくる参加型インスタレーション) を仙台市地下鉄東西線国際センター駅に展開、実施する。
公益財団法人 仙台市市民文化事業団 (宮城県)	
2016年12月16日～12月25日	
宮城県仙台市内各所	
「311 ドキュメンタリーフィルムアーカイブ」プロジェクト 2016～3.11 映像記録のこれまで、これから	山形市市制施行 100 周年記念事業として 1989 年より始まった映画祭。東日本大震災をきっかけに震災関連の作品が多く集まり、以降上映会を継続的に実施。2014 年より「311 ドキュメンタリーフィルムアーカイブ」プロジェクトをスタートさせ、震災記録映画の収集・保存管理・情報発信に努め、積極的に上映活動を行う。
認定 NPO 法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭 (山形県)	
2016年10月10日～2017年3月31日	
山形県山形市内各施設	
プロジェクト FUKUSHIMA !	東日本大震災をきっかけに、音楽家・大友良英、遠藤ミチロウ、詩人・和合亮一を代表に、有志により 2011 から毎年開催されているフェスティバル。今の福島を生きる人々が、芸術・文化による震災復興を通して新しい表現を生み出し、福島を世界にむけて文化発信する。特に 2013 年より始めた新しいスタイルの盆踊りは福島発信の文化として全国各地で連携実施する。
特定非営利活動法人 プロジェクト FUKUSHIMA (福島県)	
2016年8月1日～2017年3月31日	
福島県福島市・いわき市、東京都豊島区・千	

代田区、北海道札幌市内各所	
KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭	茨城県の県北の豊かな自然と独自の歴史・文化や地場産業等を舞台に、初開催される現代アート展。森美術館館長の南條史生氏を総合ディレクターに迎え、地域資源の持つ潜在的な県北の魅力をアートを通じて引き出し、地域の活性化を図りながら、新たな価値を生み出す。
茨城県北芸術祭実行委員会（茨城県）	
2016年9月17日～11月20日	
茨城県日立市・常陸太田市・高萩市・北茨城市・常陸大宮市・大子町内各所	
さいたまトリエンナーレ 2016	さいたま市で初開催される芸術祭。国内外で先進的な活動を展開するアーティスト34組を招聘、市に滞在する中で、「未来の発見！」というテーマのもと、市民と交流しながら遊休施設や屋外空間を活用して多彩なアートプロジェクトを与野本町駅～大宮駅周辺、武蔵浦和駅～中浦和駅周辺、岩槻駅周辺を中心に展開する。
さいたまトリエンナーレ実行委員会（埼玉県）	
2016年9月24日～12月11日	
埼玉県さいたま市内各所	
東京修学旅行プロジェクト	「修学旅行」という形式を使い、現在進行形のアジア地域の交流を演劇的に体験できるプロジェクト。リサーチャーが、タイ・台湾・インドネシア各国から東京への修学旅行についてリサーチし、学び、交流し、関係をつくりながら理想の修学旅行コースを設定し、地図を作成する。参加者は実際にコースをたどることで、その地図に反映された国の歴史や文化や宗教を自身の身体で学ぶとともに、東京が持つ多様な魅力を知ることになる。
Port B（東京都）	
2016年10月10日～2017年3月31日	
東京都内各所	
国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2017	1995年に「芸術見本市」としてスタートした舞台芸術に取り組むプロフェッショナルの実践とコミュニケーション促進のためのプラットフォーム。主催する演劇・ダンス・音楽の公演プログラムの実施、主催・提携する参加者が交流するためのプログラム、国内外のプロデューサーやフェスティバル・ディレクターとの個別面談やシンポジウム等をさまざまなプログラムを展開する。
特定非営利活動法人国際舞台芸術交流センター（神奈川県）	
2017年2月11日～2017年2月19日	
神奈川県横浜市各文化施設	
つくることは生きること 震災《明日の神話》展	“立ち上がるためのアート”“乗り越えるためのアート”の象徴的な作品として、原爆を受けてもなお人間が未来を切り開き立ち上がる姿を描いた岡本太郎の《明日への神話》の展示。それとあわせて被災地出身者が主体のアーティスト作品と東北・熊本の一般の人々の作品とメッセージが展示される。
ARTS for HOPE（東京都）	
2016年10月10日～2017年1月12日	
神奈川県川崎市岡本太郎美術館	
KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2016 AUTUMN	国内外から集う先駆的な舞台表現を京都で集中的に上演し、新しい文化潮流を生み出すことで国内へインパクトを与え、世界に発信。公式プログラムは12のアーティストによる15演目を2016年1月にリニューアルしたロームシアター京都（旧京都会館）のオープニング事業の一環として実施する。
京都国際舞台芸術祭実行委員会（京都府）	
2016年10月22日～11月13日	
京都府京都市ロームシアター京都他各施設	
地域に根ざした創造活動拠点の実験 2016-2017	既存の枠組みに捉われず、アーティストとともに、地域と関わり合いながらまちの中に創造の現場を生み出し「芸術と社会の有効な関係」を再構築していく取り組み。2003年より浪速区・新世界周辺からスタートし現在は西成区を拠点に活動。今回は廃校になった小学校跡地を活用し、きむらとしろうじんじん、ブブ・ド・ラ・マドレーヌ等のアーティストと地域がともに創造の場をつくっていく創造的社会実験などいくつかの事業を実施する。
プレーカープロジェクト実行委員会（大阪府）	
2016年8月1日～2017年3月31日	
大阪府大阪市西成区 創造活動拠点「新・福寿荘」/「kioku 手芸館 たんす」/「旧今宮小学校」	

六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2016	2010年より毎年、六甲山上エリアで開催される現代アートの展覧会。主に野外の作品展示を通じて六甲山上を散歩しながら豊かな自然とともに歴史や文化に触れ、土地の魅力を体感する。招待および公募から審査により選ばれたアーティストが六甲山の自然・景観・歴史・文化を生かし、エリアの魅力を引き出す作品を展示する。
六甲山観光株式会社（兵庫県）	
2016年9月14日～2016年11月23日	
兵庫県神戸市六甲山上各施設	
なら国際映画祭 2016	世界の映画人を招聘し日本の新人監督の育成や国際交流を目的とする国際映画祭。作品上映だけでなく若手監督に奈良を舞台にした映画制作を依頼し、その作品を映画祭でプレミア上映する活動や、新人監督のコンペティション、映画観客以外にも楽しめるならアートナイトなど実施する。
特定非営利活動法人なら国際映画祭実行委員会（奈良県）	
2016年9月17日～2016年9月22日	
奈良県奈良市各所	
岡山芸術交流 2016	岡山城、後樂園を中心とした歴史・文化ゾーンをメイン会場とし、世界16か国31組のアーティストのオリジナル作品を展示する現代芸術の展覧会を実施。アーティストック・ディレクターにニューヨークに活動拠点を置く現代アーティストのリアム・ギリック氏、総合ディレクターにギャラリストの那須太郎氏、総合プロデューサーに現代アートのコレクターである石川康晴氏を迎え、3年ごとに開催するトリエンナーレ実施をめざす。
岡山芸術交流実行委員会（岡山県）	
2016年10月9日～11月27日	
岡山県岡山市内岡山城を中心とする歴史・文化ゾーン	
カシューナッツ 12帖演劇祭	熊本市の健軍商店街に隣接するアトリエ花習会で行われる小さな演劇祭。1か月の会期中の週末ごとに各地より集まった作品を上演し、アーティストの交流も実施する。今年は熊本地震発災により商店街は完全に倒壊し大きく被害を受けた。その状況下でアートによる復興をめざし、ひとつでも多くの笑顔が生まれるために今年も演劇祭を開催する。
SASHIYORI Art Revival Connection KUMOMATO（熊本県）	
2016年10月21日～11月20日	
熊本県熊本市 アトリエ花習舎	